

秋田大学・秋田県立大学 in 大仙市

【主催】秋田大学・秋田県立大学【後援】大仙市・(株)秋田魁新報社

期間 平成20年10月31日(金)～11月1日(土)

会場 大曲エンパイヤホテル (大仙市大曲白金町8-17)

受講無料
申込必要

10月31日(金) 技術フォーラム・交流会

バイオ燃料は世界を救う?— 秋田からの発信 —

技術フォーラム (15:00～17:00)

I. 話題提供

“菜の花”を科学する

「菜の花栽培の豆知識」

秋田県立大学生物資源科学部

准教授 田代 卓

「バイオディーゼル燃料の製造法と利用上のポイント」

秋田県立大学システム科学技術学部

助教 金澤 伸浩

“燃料”を化学する

「バイオ燃料の現状と今後」

秋田大学工学資源学部

准教授 進藤隆世志

「輸送用石油燃料の基礎と変遷」

秋田大学工学資源学部附属環境資源学研究センター長

教授 中田 真一

II. 座談会

司会進行 秋田県立大学地域連携・研究推進センター

教授 日向野三雄

交流会 (17:30～18:30)

11月1日(土) 市民講演会

市民講演会 (13:30～16:00)

「ヒトの赤血球にはなぜ核がないか？」

秋田大学医学部

教授 澤田 賢一

「菜の花で秋田を元気に」

秋田県立大学生物資源学部

教授 小林由喜也

問い合わせ先

【秋田大学】社会貢献・国際交流課 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 TEL 018-889-2270

【秋田県立大学】企画チーム 〒010-0195 秋田市下新城中野字街道端西241-438 TEL 018-872-1500

11月1日(土) 市民講演会 講義概要

ヒトの赤血球にはなぜ核がないか？

秋田大学医学部 教授 澤田 賢一

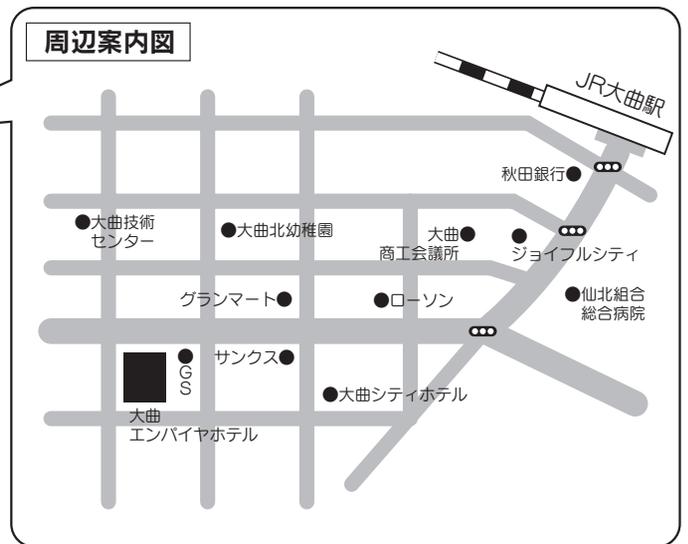
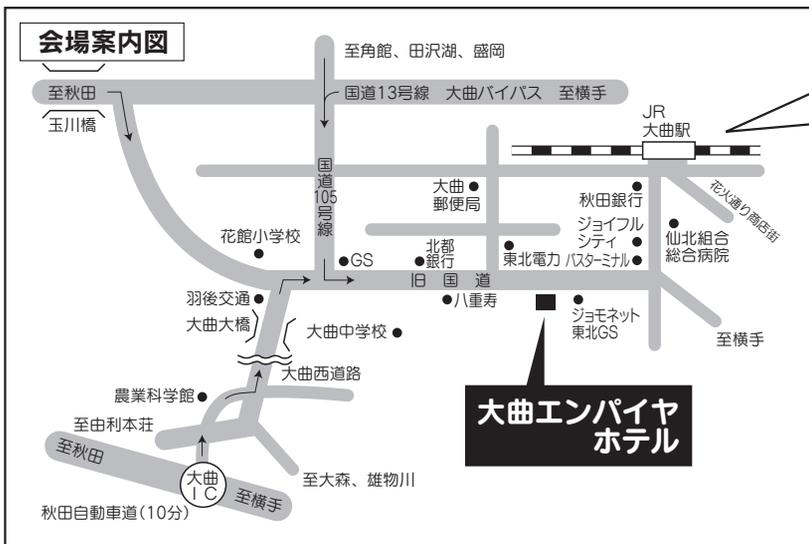
赤血球はその中にヘモグロビンという酸素を運ぶ蛋白質を持っています。そして約20秒間に1回全身を回ります。ですからその寿命（120日）のあいだに50万回以上も全身を回ることになります。赤血球のもとになる細胞は赤芽球といいますが、この細胞はヘモグロビンと核を持っています。鳥類では、そのまま赤血球になりますが、不思議なことに、ほ乳類は赤血球に核を持っていません。

この講演では、皆さんとともに、どうやって核が赤血球から出て行くのか？ どうして核がでていかなければならないのか？ を考えていきます。

菜の花で秋田を元気に

秋田県立大学生物資源科学部
教授 小林由喜也

今なぜ菜の花なのかについて、菜の花を取り巻く最近の状況を、環境保全、資源循環、エネルギーの視点から概説するとともに、県立大学や菜の花ネットワークが目指す「菜の花で秋田を元気にプロジェクト」の概要をお話しし、意義や目的を会場の皆さんと共有しながら「秋田の元気」に向かう契機としたい。



申込方法

電子メール、FAX、電話等で住所、氏名、電話番号、ご職業を秋田大学社会貢献・国際交流課へお知らせ下さい。

電子メールでお申込みの場合

syakoku@jimu.akita-u.ac.jp
メールタイトルを「連携事業申込」として必要事項をご記入の上、送信してください。

FAXで申込みの場合

FAX番号 018-889-3012
下記の用紙に必要事項を記入し、送信してください。

電話でお申込みの場合

電話番号 018-889-2270
へ必要事項をお知らせください。

第2回連携事業 秋田大学・秋田県立大学 in 大仙市 参加申込書 申込先FAX 018-889-3012

ふりがな			
お名前			
ご住所	〒		
電話番号	-	-	ご職業
申込区分	出席を希望される項目に <input checked="" type="checkbox"/> をしてください。	<input type="checkbox"/> 10/31(金) 技術フォーラム <input type="checkbox"/> 10/31(金) 技術フォーラム 交流会 (会費5,000円) <input type="checkbox"/> 11/1(土) 市民講演会	